

みんなのページ

坂本直喜さん

Naoki SAKAMOTO

さかもと・なおき ● 昭和54年2月生まれ。赤坂西野字茅在住。趣味…野球、買い物、DVD鑑賞



みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報を寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
TEL 0247-49-3115
FAX 0247-49-3363
Eメールアドレス
kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp
企画調整課企画振興係
「広報さめがわ担当」まで

村民[隨想]リレー⑯ 夢

もう一年くらい前になりますが、
買い物に行つた時のこと、息子から
「バットとボール買って！俺、野球や
りたいんだ」と一言。とても嬉しく
胸が熱くなりました。休日になると
「キヤツチボールしよう！バッティン
グセンター連れてって！」と息子な
に一生懸命です。そんな息子と一緒に野球をすることが、今では一番の楽しみです。(つい熱くなつて怒つ
てしまつたりする時もありますが...)
そんな子どもたちには、夢を持つて
夢が叶うように影ながら支えになる
父親あります。

「十年後、必死になつて野球をして
いる息子を必死になつて応援するオ
ヤジ」が今の私の小さな夢です。こ
の話をするといつも嫁は笑つています
すが... (笑)

次は、須藤勝広さん(西山字岩野草)に
バトンタッチ!

時が経つのは早いもので、私も三十代。「ハーオヤジになつたなあ」と思つて今日この頃。こんな私も八年前に結婚して、二児の父親になり充実した毎日を送っています。

子どもたちを見て、自分がどんな夢を抱いていたか、ふと考えてみました。今では叶わぬ夢ですが、「プロ野球選手になりたい」という気持ちで必死に野球に取り組んでいた頃が懐かしく思う反面、いつしか夢を追いかけるのを忘れ、一日一日をちゃんと過ごしてきた自分がここにいます。

十代。「ハーオヤジになつたなあ」と思つて今日この頃。こんな私も八年前に結婚して、二児の父親になり充実した毎日を送っています。

広報 文芸



きさらぎ
如月

一幅の寅の絵飾り年始め

かけぬける二十の脚に神宿る

初旅や列車遅れて波の音

迎え来る新年祝い子等集う

手に盛りてアイスみたいと雪なめる

お降りや今朝も川辺の鷺一羽

突風や認知症予防と記す歩数

元朝の主婦の礼服割烹着

孫の絵の特選輝く歳の暮

雪化粧して新年の至りけり

短歌

今生えし小さな雑草何時の日か大きくなりたい希望は捨てずに
師につかず自己流詠う常日頃わが師はいつも短歌の仲間

六年余幾多の死線越え舞鶴に帰還は生涯一番の歡喜なり

元朝の雪ちらつきて惑いる過ぎにし豪雪脳裏によぎる
婆待つを椅子まで揃いし四国まで曾孫の祝いに楽しと行き

石井 幸子 杉山 一郎 森 幸子

松本 鈴木 岡部 前田 北條 真田 中井

森 黒田 山本 前田 素人坂 松本 信子 恒峯

新年の雑煮香りぬ食卓に夫の在りし日偲びつつ食みいる

若き日を偲びつつ師走に木の葉はき老い等あまたで能羊を振り

田舎土産を車に積んで又来るねと曾孫が手を振り笑顔残して千代子

藤田 千代子 御祝の御屠蘇戴く盃の菊の御紋に感激あらたなり

正月の陽差しに咲きし臘梅の黄金の花は春を先取る

吾末だ聞いの氣概捨てざりぬ目標とせん百歳の翁を

田舎土産を車に積んで又来るねと曾孫が手を振り笑顔残して千代子

藤田 千代子 御祝の御屠蘇戴く盃の菊の御紋に感激あらたなり

元朝の雪ちらつきて惑いる過ぎにし豪雪脳裏によぎる
婆待つを椅子まで揃いし四国まで曾孫の祝いに楽しと行き

石井 幸子 杉山 一郎 森 幸子

松本 鈴木 岡部 前田 北條 真田 中井

森 黒田 山本 前田 素人坂 松本 信子 恒峯

新年の雑煮香りぬ食卓に夫の在りし日偲びつつ食みいる

若き日を偲びつつ師走に木の葉はき老い等あまたで能羊を振り

田舎土産を車に積んで又来るねと曾孫が手を振り笑顔残して千代子

藤田 千代子 御祝の御屠蘇戴く盃の菊の御紋に感激あらたなり

正月の陽差しに咲きし臘梅の黄金の花は春を先取る

吾末だ聞いの氣概捨てざりぬ目標とせん百歳の翁を

田舎土産を車に積んで又来るねと曾孫が手を振り笑顔残して千代子

藤田 千代子 御祝の御屠蘇戴く盃の菊の御紋に感激あらたなり

情報の泉



案内・募集

●平成22年度電気通信サービスモニター募集 総務省では、電気通信サービスに関する利用者の意見や要望を幅広く聞かせていただき、今後の情報通信行政に反映させため、平成22年度電気通信サービスモニ

ターを募集します。／応募資格…総務省が実施するアンケート調査や会議などに協力していただける方で、電話・インターネットに関する構成を考慮し、モニターをお願いする方には、5月末までに本人宛に委嘱状を送付します。／問い合わせ・応募先 総務省東北総合通信局電気通信事業課〒980-8795仙台市青葉区本町3-2-23☎022-221-0628、FAX 022-221-0613

●平成22年度児童福祉月間ポスターの図案を募集します 福島県では、児童福祉の理念の普及・啓発を図るため、毎年5

月を「児童福祉月間」と定めています。この「児童福祉月間」の広報用ポスターの図案を募集します。／テーマ…子どもの健やかな成長への願い／応募資格…県内に住んでいる方であればどなたでも応募できます／応募規定…①一人何点でも応募できます②作品はA4サイズ(21.0cm×29.7cm)以上のもとの③作品の裏面には、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業(学校名)、電話番号を必ず記入してください／応募締め切り…2月1日(金)当日消印有効／問い合わせ・応募先…福島県保健福祉部子育て支援課〒960-8670

福島市杉妻町2-16☎024-521-7198

●多重債務相談窓口のご案内 福島財務事務所では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱えている方からの相談に応じています。相談者が抱える借金の状況をお聞きするとともに、必要に応じて、弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。／相談窓口…財務省東北財務局福島財務事務所(福島市松木町13-2)／受付時間…月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く)午前8時30分～午後5時／問い合わせ…

財務省東北財務局福島財務事務所☎024-533-0064

●県民力レッジまなびとオリオン講座 開催 本講座は、コミュニケーション能力の中でも他人の意見を聞くことの大切さを学びます。／主催…福島県県南地方振興局／日時…2月20日(土)午後1時～3時／会場…白河合同庁舎大会議室／対象…一般県民…30人程度／申し込み先・問い合わせ…福島県県南地方振興局企画商工部地域づくり・商工労政課☎0248-23-1546

鮫川村人権擁護委員
水野きよ子さん

新しい人権擁護委員に水野きよ子さん

平成22年1月1日付けで、新しい人権擁護委員に水野きよ子さん（赤坂中野字宿ノ入49-3771）が法務大臣から委嘱されました。委嘱期間は平成24年12月31日までの3年間で、いじめや暴力、虐待、人権侵害など人権に関する相談や普及啓発活動を行います。

村には、水野さんのほか、水野美好さん（赤坂中野字道少田49-2104）と津田彰夫さん（渡瀬字木之根48-2450）が人権擁護委員に委嘱されています。
電話による相談も行いますので、お気軽にご相談ください。

■問い合わせ 村住民福祉課49-3113

伝統文化に触れ、 手づくりのランプシェードが完成

公民館事業「和紙でランプシェードづくり」

村公民館事業「和紙でランプシェードづくり」の最終講座が1月9日、村公民館で行われました。

同講座は、鮫川の伝統文化を伝えることを目的に昨年12月に講座が開かれ、親子など12人が参加しました。

和紙すきやランプシェードの組み立てには、伝統の鮫川和紙を伝える齋須寛一さん（赤坂中野字新宿）、和紙の絵付けには、鈴木米子さん（赤坂中野字新宿）を講師に講座が開かれ、和紙すき、絵付け、ランプシェードの組み立て、和紙の張り付けの工程を経て、やわらかな光りがともるランプシェードを完成させました。

参加者は、伝統の技の素晴らしさを体感し、ランプシェードづくりを楽しみました。



猪苗代でスキーを楽しむ

チャレンジスクール第7講座「スキー教室」

村公民館事業のチャレンジスクール第7講座「スキー教室」が1月16日、猪苗代町の猪苗代スキー場で開かれ、チャレンジスクールの親子約30人が参加しました。

同スクールは、小中学生とその保護者を対象に年8回行われているもので、7回目となる今回はスキー教室を開催。スキーのレベルごとに指導が行われ、参加者は思い思いにスキーを楽しんでいました。

また、昨年12月25日には第6講座が開かれ、ケーキ作りに挑戦しました。小学生と保護者34人が6班に分かれ、班ごとにスponジケーキにトッピングし、ケーキ作りを楽しみました。



上…スキーを楽しんだ参加者（第7講座スキー教室）／左…作ったケーキを味わう子どもたち（第6講座ケーキ作り）



舟木 大樹さん（24歳）
[赤坂西野字岡田在住]
誕生月 昭和60年10月
血液型 A型
星座 てんびん座
趣味 スポーツ全般

人が温かくて、自然豊かでいい村ですね。

■仕事はどんなことをしていますか？

棚倉町の碎石工場で検査をする仕事をしています。

■仕事で心がけていることはありますか？

JIS規格に合っているかをしっかり検査し、良い製品が納品できるように心がけています。

■休日はどんな風に過ごしていますか？

友だちと遊びなどに出かけています。

■これからチャレンジしてみたいことはなんですか？

これからのことを考え、地域の人との付き合いをもっと大事にしていきたいですね。

■村に住んでいて感じることや、現在の村についてどう思いますか？

人がとても温かくて、自然が豊かでいい村だと思います。不便は感じられませんね。

■村に必要なもの、要望などはありますか？

若い人がずっと鮫川村にいるような環境を整えてもらえば、村がもっと活気づくと思います。それと道路に街灯があると明るくていいと思います。

次回は、関根理恵さん（赤坂西野字荻ノ沢）の予定です。

学校だより

（第64回）

青生野小学校 編

武藤 誠 校長
児童 20人



「わあ、かわいい！」
「よおーし、今度は作つてみよう！」
これは「おにぎり給食」の一コマです。青生野小学校では、年7回、家庭でのふれあいを目的に「おにぎり給食」を実施しています。

おにぎり給食



子どもたちが作ったおにぎり

（文・写真 青生野小学校）

す。回を重ねることに、子どもたち自らおにぎりづくりにチャレンジするようになり、今ではキャラクターおにぎりやサッカーボール、サイコロ、スライムなどさまざまなおにぎりが出現するようになりました。家族と一緒に、また、見守られるながら作ることで、達成感や満足感、そして自信と自立心食に満たす興味が芽生え、高まってきたようです。次回は、どんなおにぎりが登場するか楽しみです。